

救急隊員向けシミュレーションプログラム PROSTコースを開催しました

2023年1月23日（月）に救急隊員向けシミュレーションプログラムPROSTコースを開催しました。名取市消防本部と栗原市消防本部からそれぞれ1チームずつ合計2チームの救急隊の方々に参加いただきました。講師は、東北大学病院高度救命救急センター医師の小林先生、佐藤先生、横川先生が務め、研修のサポートスタッフとしてレールダルメディカルジャパン株式会社の浅野様とクリニカル・スキルスラボの荒田先生、須藤先生が出席しました。

まず最初に、15分程度の時間を使い講師が研修の流れを説明し、受講者には使用するシミュレータや機材を確認していただきました。その後で1つ目のシミュレーション実施に移りました。まず講師より救急要請が入った場面について説明があり、それを踏まえ隊長が中心となって疾患を予測し現場活動のプランニングを行います。現場活動の場面では、隊員が患者の病態を模したシミュレータに対し様々な角度から観察を実施しました。また同時に別の隊員が通報者（今回はサポートスタッフが患者家族や同僚を演じました）から情報収集などを行いました。病態観察や情報収集を踏まえて隊員間で具体的な対応を検討し、患者シミュレータに対して処置を行い病院への収容依頼までを実施しました。シナリオ実施後は、隊員の行動記録や一連の様子を撮影したビデオを用いてディスカッションを実施しました。その後は休憩を挟んで実施するチームを交代し、別のシミュレーションを実施しました。

参加者からは、現場では時間をかけて確認することが難しい部分もあるが、今回のシミュレーショントレーニングでは考えながら行動する時間が取れたことが貴重な体験だった。普段から自署で訓練を実施しているが、医師が介入しての訓練はないので医学的な目線を交えてフィードバックしていただけて大変有意義な内容でしたなど、肯定的な感想が多数寄せられました。

